

お元気ですか

三菱樹脂OB会だより第十一号

高橋会長年頭ご挨拶

明けましておめでとうございませす。皆様におかれましてはご家族と

どもも良い年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。旧年中は大変ご協力を賜りありがとうございました。本年もよろしくお願ひいたします。

昨年は度重なる台風の本土上陸や、新潟県中越大地震など天災が相次ぎましたが、皆様方のご郷里や親しい方にご被害は無かったかお見舞い申し上げます。今年はこのような天災の少ない穏やかな年になることを願っています。

当OB会は今年創立十五周年を迎え、会員数も発足時の三倍を超える約五七〇名になりました。会の運営方針としては、年一回の総会のほか、引き続きスポーツや歩こう会など健康増進の会や、趣味の会などの催しを進め、会員相互の親睦を深めるとともに、会員の皆様の心身の健康維持にお役立ちできることを念じて取り組んでいくつもりです。これらの会の運営に携わっている方々のご努力に感謝いたしますと共に、お時間の許される方の多数ご参加を望んでおります。「OB会だより」は紙面に限りがありますので、これらの活

動の詳細は写真と共に、ホームページに掲載しております。ホームページにはこのほか会員個人のユニークな活動の投稿も載せておりますので、是非ご覧いただきたく思っています。

本年の総会は樹脂本社会議室で開催し、懇親会はその十五階にある三菱クラブにて行なう予定ですので奮ってご参加ください。

皆様の益々のご健康とご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶とします。



大阪支部定期総会

平成十六年十一月十二日(金)

場所 神戸三宮「東天紅」

出席者十八名

山口滋支部長、小野博三、中村光男、町田富美夫、宮本二四彦、日野繁、南光弘、内藤次生、宇塚正、山口陸雄、吉田康子、岡本益弘、奥田公具、福井久、熊倉寛、松本弘、山本功、平井穰

総会開始に当り支部長より参加

予定の加藤敏雄さん、井上湛弘さん、小森善成さんが急に欠席との報告あり残念の申しきり、一方、遠方より小野さん、日野さんが参加され紹介があった。

支部OB会総会では樹楽会ハイキング(五回)ゴルフ会(二回)花見会の年次報告、会員異動の報告があった。



席を変えて懇親会である。自然の成り行きといつか概ね年代別に三テーブルに分かれた一同は夫々の回顧談、現況などの話に花を咲かせている。

六甲の山並が暮れなずみ、やがてお酒もまわり席も入り乱れた頃合を見て、名残りを惜しみながらの閉会となった。

名古屋支部懇親会

平成十六年十一月十六日(火)

正午午後二時

場所 東天紅

出席者 赤江孝之、池田浩司、伊藤壽、岡田英夫、合原精一、杉山英雄、高橋恭明、谷口厚生、玉木正良、中島次郎、円山普薫、箕島勝、宮内勉、岸川茂

本年度の懇親会は交通の便を考慮し、名古屋に引き続き「東天紅」で開催しました。



初参加の方が二名、新会員一名が加わり会場は賑やかな雰囲気になりました。

一年振り、中には数年振りに出合った人も多く、昔話やお互いの近況交換に興じている内に予定の時間になったので再会を約し散会しました。

今、中部地域にはこれまでに

く「元氣」が漲っているように思います。

昨秋には中日ドラゴンズが五十年振りの日本シリーズ優勝をかけた善戦し、今春は中部国際空港・愛知万博の巨大プロジェクトが続いて花を咲かせます。

我がOB会も細やかながら「地域の元氣」にあやかり、何時までも「元氣」を保ち会員相互の絆を強めていきたいものです。(岸川茂記)

本年度OB会総会予告

平成十七年五月二十日(金)

総会 樹脂本社会議室

懇親会 三菱クラブ(三菱ビル十五階)

詳細は後日ご連絡します。

歩こう会

本部第四十回歩こう会

吾妻山ハイキング

平成十六年十月二十五日(月)参加者二十三名 石射祥光、石川晃司、市村義雄、岩崎俊二郎、岩田幸三、小倉武司、尾上昭夫、木原仁博、坂本堅一、清水康次、高橋健二、高橋義衛、田中須賀夫、土川猛弘、永井正義、中川実信、野中短仁、藤原志朗、森口勝、山田守士、山根邦章、山本猛、吉井靖

暖かく良い天気にお恵まれ絶好のハイキング日和となった。

二宮駅北口をスタート、急な階段道を登って吾妻山頂上に到着。遠くは霞んでいたが、平塚、小田原、奏野方面や船が行き来する相

模湾を眺めることができた。「日本武尊」の妃「弟橘媛」を祀った吾妻神社に詣でる。

山頂出発、知足寺に行く。この寺には曾我五郎、十郎兄弟の墓があり、その前には皇太子浩宮のご参詣記念碑があった。誰言うとなく「浩宮が来られたのなら曾我兄弟の墓に間違いない！」という話になり、全員妙に納得。実は曾我兄弟の墓と言うのが何箇所かあるようだ。



その後、徳富蘇峰記念館を訪れ、女性解説員の名調子に聞き入った。午後四時記念館に別れを告げ、二宮駅南口のガラスのうさぎ像前に到着。ここで一応解散し、引き続いて二十名は近くの居酒屋で打ち上げを行ない、無事終了した。(野中矩仁記)

本部第四十一回歩こう会
寄席演芸を楽しむ

平成十六年十二月二日(木)
国立演芸場 参加者十五名
青山新太郎、荒木秀浩、石橋正

康、市村義雄、岩田幸三、香川重雄、加藤進、坂本堅一、篠島秀明、谷口勝利、栢枝茂、徳光文徳、原田浩次、松内俊夫、吉井靖
会場はほぼ七分の入り。買ってきた弁当を早速開いてくつろぐ。十二時四十五分開演。

前座 三笑亭司女次「つる(鶴)」
落語 春風亭柳之助「時そば」
ものまね 江戸家まねき猫「枕草子・動物のなきまね」
落語 桂小文治「片棒」
コント コントD51「お芝居・家のリフォーム」
講談 神田伯龍「日光みやげ・母の慈愛」
歌謡漫談 東京ボーイズ「コント入り歌謡ショー」
落語 雷門助六「浮世床」「おいとこ踊り」
紙切り 林家今丸
落語 三笑亭夢太郎「寝床」



「おいとこ踊り」とは家康に抵抗した豊臣家臣たちの「落武者同志が飲み歩く姿を表現したもの。紙切りでは客席のリクエストに

「冬ソナ」の声も掛かる。客席とのやりとりの中、歌あり、踊りあり、笑いありと寄席ならではの雰囲気。参加された皆さん楽しい一時を過ごした後、「えぞ会席」に移りました。

(吉井靖記)

大阪支部第十四回樹楽会
山科から大津へ
平成十六年十一月一日(月)
参加十一名 岡本益弘、熊倉寛、内藤次生、中村利之(長浜)、平井穰、福井久、町田富美夫、松本弘夫妻、山口陸雄、吉田康子
九時半山科駅前集合、予定のコースはぬかるみが心配されるといふことで、この辺りの地理に滅法詳しい町田さんに付き従うこととした。



まずは琵琶湖疎水に沿って歩き始めるが、紅葉の時期には尚早かつ台風の影響もあるようで、やや侘びしげな風情である。
小休憩を挟み林道を歩き続けると「普門寺前」分岐点に至る。
やがて旧い民家脇の小路を抜けると「長等公園」、ここは大津随一の桜の名所という。

約九百本の桜花の園をイメージしながらの昼食となる。酒もまわりご機嫌なひと時を過ごし、午後一時山道に入る。

野鳥観察ステーションなどを経て、峠にかかった辺りで視界が広がり、展望台の眼下には大津市街から琵琶湖、対岸の近江富士も見渡せる。急坂を下りきると「逢坂山」の麓、鄙びた感じの「蟬丸神社」がひっそりと佇んでいる。
この神社境内には謡曲(能)舞台があり、謡「蟬丸」の奉納の会が執り行われている由。

芸能の神への参拝も済ませて、次回は年明けに万葉集ゆかりの「山の辺の道」散策を内定し散会。(熊倉寛記)

ゴルフ同好会

本部第二二回ゴルフコンペ

平成十六年十月十四日(木)

大厚木CC桜コース

参加十五名 安藤明義、井伊裕、市村義雄、岩田幸三、大庭忠利、亀田実、坂本堅二、篠島秀明、菅澤武彦、高橋健二、高橋義衛、原田浩次、牧原稔、山田守士、山本猛

水を含んだ芝生のため、ボールの転がりが悪いのが気になった程度で、好天候の下、初参加の菅澤さんを含む参加者全員日頃磨いた技を競い合い、プレーを充分楽しむことができました。

今回に限り、大波賞、小波賞、水平賞、ラッキイセブン賞、当月(十位)賞等、賞品の数をぐんと

増やしたため、プレーにいつそう熱が入り、一人で三個の賞品を獲得する幸運な人が現れたりして、大いに盛り上がりました。

優勝 山本猛
準優勝 篠島秀明
第三位 牧原稔
B G 市村義雄八三(43.40)
ニアピン賞 篠島秀明、市村義雄、亀田実、原田浩次
特別賞 山田守士
(篠島秀明記)



長浜支部第二三回ゴルフコンペ

平成十六年十月八日(金)

彦根カントリー倶楽部

参加二十七名 雨森作仁、石丸正明、岩根信次、尾本光弘、加藤勲、神部勇作、草野康雄、小林一好、後藤健二、笹原榮之助、柴田壽一、柴田弥蔵、高橋恭明、竹田善祐、田辺大英雄、富岡秀雄、中山勉、中村民夫、西沢芳朗、野田和久、服部重受、藤田稔、松宮正之、森川栄壽、山口滋、山田知男、柴田清廣

大阪支部の山口さんと両森さん

も参加され、賑やかな会になりました。
雨足が弱まる気配がないため正式競技はハーフだけとなり、希望者のみ、残りのハーフをプレーして終了しました。
懇親会では馬券とオネストジョンドゲームの発表も行われました。



優勝 藤田稔
準優勝 神部勇作 (BG) 七六
第三位 加藤勲

大阪支部第六回ゴルフコンペ
(柴田清廣記)

平成十六年九月三十日(木)
サンダレイトGC

小雨シヨボ降る中のスタートでしたが、後半やつと晴天となりました。スタート時間を集合時間と勘違いする御仁もあり、てんやわんや。それでも一応全員揃い、いつも通り和気藹々の中終了しました。

優勝 能瀬庄一

準優勝 雨森作仁
第三位 岡本益弘

BG 雨森作仁 八七
参加者 岡本益弘、雨森作仁、松本弘、宇塚正、南野彰宏、吉田康子、能瀬庄一、平井穰、山本功、山口滋(記)



テニス同好会

本年秋季大会

平成十六年十一月十六日(火)
場所 ダイヤモンドテニスクラブ
(東京・高井戸)

参加者十七名 井伊国裕、石橋正康、市村義雄、伊藤春生、小倉武司、川上治夫、篠島秀明、菅原彦一、関守二、高橋義衛、土川猛弘、西林公助、原田浩次、藤原志朗、牧原稔、宮下和久、安田久雄
試合形式 四ゲーム先取・ノンアド方式

前日の雨が嘘のような小春日和を思わせる絶好の秋晴れに恵まれ、高橋会長以下半年振りのお手合わせに夫々の想いを込めて熱戦が繰りひろげられました。

各人歳を忘れ五試合前後の試合

をこなしましたが、その間、関さんの二人のお孫さんの応援や幹事の組み合わせの妙のお蔭で全勝者も全敗者もなく和気藹々のうちに終わりました。
恒例の有志(大半の十四名が出席)による懇親会は高井戸駅横の中華料理店にて、各々の近況報告・試合の反省・言い訳等で面白いがやがやと楽しい一夕を過ごした後、来春の再会を期して無事終了しました。

(原田浩次記)



フォトサークル2000

「第十回撮影会」

平成十六年十一月九日(火)

於 奥多摩・御岳
参加者 広江昭道、柳澤知男、久保秀雄、山崎勲、山本猛、吉井道郎、西林公助

十一時御岳駅に集合、絶好の写真日和となった。時間前に着いた人は待ちきれず「御岳橋」から見事に紅葉した木々と川の流れを、



趣味、健康、ライフワーク

NHK歌壇・俳壇に入選

柴田弥蔵さんは、毎週土曜午前七時半から放送されている「NHK歌壇」に投稿し、これまで何回も入選されています。

平成十六年十二月二十五日放送のNHK歌壇入選作品
題「蘭」 選者：福島泰樹
「屈葬の死者屈みぬ墓地の闇鋭き声に木枯渡る」
(海軍兵学校予科在学中、校舎が空襲で焼かれ、野宿している時に腸チフスが流行り、死んだ生徒達が惨めな扱いを受けた情景を想い出している作品)

平成十七年一月二十二日NHKホールで発表されるNHK全国短歌大会の入選作品
「居並びてなに語るなく古宿に少し欠けたる月眺めをり」

平成十六年十月十六日放送 特選第二席入選作品 「NHK歌壇」十二月号掲載

「無造作に掴みし小銭を目で数へたこ焼店主釣銭返す」
選者小島ゆかり評「目で数へ」

よって、一首全体がばつと生きた。それは、無造作に掴んだ小銭だからこそ、たこ焼店主だからこそ。実にうまい一首。

平成十三年十月二十一日放送 NHK歌壇入選作品
題「公園」 選者：道浦母都子

「公園の忠霊塔にひざまずきしばし動かぬパラソル一つ」
選者評「肉親か知人が祀られている忠霊塔。その前で祈りを捧

げている忠霊塔。その前で祈りを捧

げている忠霊塔。その前で祈りを捧

げる女性。「しばし動かぬ」が敬虔な思いを伝える一首。

平成十二年度滋賀県芸術文化祭
特選 選者 木村光子
「あきつ飛ぶどんどん橋の袂まで
都会へ戻りゆく子を送る」

選者評・ふるさとを後に都会へ戻
る子を送る親の情が滲む。余分な
直情の排除が佳。

柴田弥蔵さんは退職後、レイカ
ディア大学(地域の文化活動を推
進する人を育成する県の組織)に
入学されましたが、必須科目に短
歌があり、この時から短歌を始め
られました。短歌の結社「好日」
に所属されておられます。

俳句の方は結社「龍鼻」に所属
され、NHK俳壇にも毎月出品さ
れています。俳句も数多く入選さ
れています。その中から一句だけ
ご紹介いたします。

「身震ひをして白鳥に啼かれけ
り」(「NHK俳壇」平成十六年
四月号掲載 佳作入選)

※平成十七年一月二十二日開催
の「NHK全国短歌大会」の放送
をご覧ください。(柴田清廣記)



第一回平塚OB会作品展

会場 平塚市 ひらつか市民プラ
ザ・ギヤラー

平成十六年十二月九日(木)〜十
二月十四日(火)

初めての試みで不安はありまし
たが冒険心とチャレンジ精神で作
品展を企画しました。

何から手をつければ良いのか、
手探りの状態で準備を始め、OB
会作品展を参考に、出品者をはじ
め多くの皆さんの協力で飾り付け
を終え、開催にこぎつけました。

厚くお礼申し上げます。

作品展は、会員の創作作品を大
勢の人に見てもらい自己の励みに
繋げ、趣味を通して交流の場にな
ることを期待しています。

作品は、来場者の興味を強く惹
いた盆栽や茅葺き屋根の家、独創
的な陶芸、会場を華やかに飾る吊
り籠、人柄を忍ばせる古木、制作
者の思い入れと情熱を彷彿させる
彫刻、絵画、写真等々、出品者二
十三名、作品数約八十点を数え、
質や内容の深さについて高い評価
をいただきました。

初日には、地方新聞社より作品
展について取材を受け、幸先の良
いスタートを切り、入場者数が千
名を超え、初歩的な問合せから高
度な質問まで、応対した実行委員
がうれしい悲鳴を上げました。

思いがけない諸先輩・同輩が顔
を見せてくださり、時ならぬ交流
の場となり、「開催して良かった」
が一同の素直な感想です。

平塚OB会は、平成十五年六月

発足、平塚工場勤務者の有志で構
成し、会員相互の親睦と心身の活
性化に努め、岡本満男会長、中川
実信代表幹事、幹事若干名、会員
百名を数えるに至っています。

今まで、発足会、総会、ソフト
ボール、バーベキュー、ハイキン
グ、バス旅行、ゴルフ等を挙行し
ていますが、今後も二〜三ヶ月に
一回位の割合で行事を行いたいと
思います。

平成十七年二月開催の平成十六
年度総会には、小田原市ボランテ
ィア観光協会の山田昇会長をお招
きして、講演「定年後のボランテ
ィア精神に基づいた社会貢献」を
予定しております。

今後も活動内容の充実と会員の
親睦を図るとともに、少しでも地
域社会のお役に立てれば幸いと考
えております。皆様のご協力をよ
ろしくお願いいたします。

(田中須賀男記)



OB会事務局から

▽会員の状況

全会員数 五七三名 本部三一五
名 長浜一七四名 大阪三六名
名古屋二一名 九州二七名(平成
十六年十二月六日現在)

▽訃報

- 奥田民雄殿 平成十六年六月三日
逝去
- 姫田四郎殿 平成十六年六月二十
九日逝去
- 小島 孝殿 平成十六年七月二十
四日逝去
- 広根国衛殿 平成十六年八月十日
逝去
- 綿屋貞紀殿 平成十六年九月八日
逝去
- 甘粕慎一殿 平成十六年十月十八
日逝去
- 関 信之殿 平成十六年十月二十
二日逝去

OB会作品展のご案内

会期 平成十七年二月二十二日
(火)〜二十七日(日)
時間 午前十時〜午後六時
(初日は正午から、最終日は午
後四時まで)
場所 神奈川県民ホール第一展示
室 京浜東北線関内駅石川町駅よ
り徒歩十五分、みなとみらい線日
本大通り駅から徒歩五分
問合せ先
平松久 電話 03-3700-1944
FAX 03-3708-6868

発行者：三菱樹脂OB会事務局 〒110-0016 東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル 7-2F
TEL 03-3834-9174 FAX 03-3834-8837
株ダイヤサービス東京支店内 担当 原島尚彦

編集委員

- 市村義雄
- 加藤進
- 黒川亮
- 柴田清廣
- 原田浩次
- 吉井靖

- TEL/FAX:0463-55-7235
- TEL/FAX:03-3709-3610
- TEL/FAX:047-447-2881
- TEL/FAX:0749-65-7834
- TEL/FAX 045-621-3355
- TEL/FAX:045-811-9390

- e-mail ichiyo-ei@k2.dion.ne.jp
- e-mail ssmkato@oregano.ocn.ne.jp
- e-mail heichuan@m19.alpha-net.ne.jp
- e-mail shibapin@guitar.ocn.ne.jp
- e-mail kh8893@mb.infoweb.ne.jp
- e-mail yoshiya@skyblue.ocn.ne.jp

OB会ホームページのアドレス

<http://www.obkai.mpi-mrc.co.jp/>